

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
56	火山旅	旅は、 ^{りよ} 少しく ^{すこ} 亨 ^{とお} る。旅には ^{たび} 貞 ^{ただ} しければ ^{きち} 吉なり。
	初爻	旅して ^{たび} 瑣瑣 ^{ささ} たり。斯れ ^そ その ^{わざわ} 災 ^と いを取るところなり。
	二爻	旅して ^{たび} 次に ^{やど} 即 ^つ き、その ^{かね} 資 ^{いだ} を ^{どうぼく} 懐 ^{てい} き、 ^え 童僕 ^え の ^{てい} 貞 ^え を得たり。
	三爻	旅して ^{たび} 次 ^{やど} を ^た 焚 ^た くかれ、その ^{どうぼく} 童僕 ^{うしな} を ^{ただ} 喪 ^{あやう} う。貞 ^{ただ} しけれども ^{あやう} 厲 ^{あやう} し。
	四爻	旅して ^{たび} 干 ^{ここ} に ^お 処 ^し り、その ^し 資 ^ふ 斧 ^え を得たり。我 ^わ が ^{こころ} 心 ^{こころ} 快 ^よ からず。
	五爻	雉 ^{きじ} を ^い 射 ^い て、 ^{いち} 一 ^{やう} 矢 ^な 亡 ^つ う。終 ^つ にも ^ほ つて ^{めい} 誉 ^{めい} 命 ^{あり} あり。
	六爻	鳥 ^{とり} その ^す 巢 ^た を ^{たび} 焚 ^び かる。旅 ^と 人 ^と 先 ^さ には ^{わら} 笑 ^あ い、後 ^あ には ^な 号 ^さ き ^け 咷 ^ぶ ぶ。 牛 ^{うし} を ^え 易 ^{うし} に ^き 喪 ^{ょう} う。凶 ^き なり。

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。